

令和元年度

府中市地域包括支援センター業務チェック 実施報告書

1	実施概要1
2	実施結果	
	府中市地域包括支援センター泉苑2
	府中市地域包括支援センターよつや苑3
	府中市地域包括支援センターあさひ苑4
	府中市地域包括支援センター安立園5
	府中市地域包括支援センターしみずがおか6
	府中市地域包括支援センターかたまち7
	府中市地域包括支援センターしんまち8
	府中市地域包括支援センター緑苑9
	府中市地域包括支援センターにしふ10
	府中市地域包括支援センターこれまさ11
	府中市地域包括支援センターみなみ町12

1 実施概要

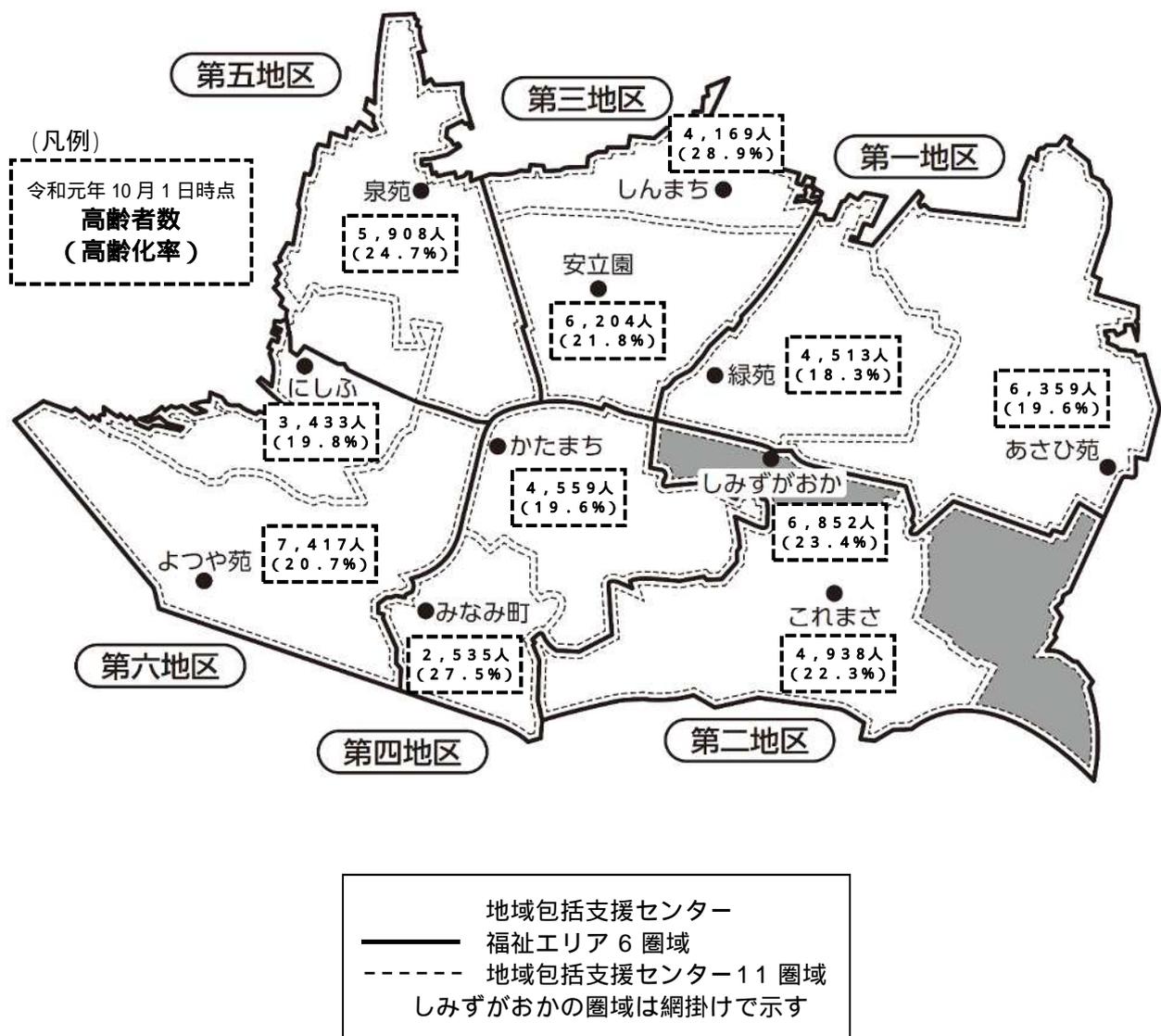
目的 地域包括支援センター自らがその取組を振り返るとともに、市がセンターの運営や活動に対する点検や評価を実施し、その結果を踏まえて、センターと市が事業の質の向上のための必要な改善を図っていくことを目的とする。

方法 市が各地域包括支援センターを訪問し、地域包括支援センターにより事前に提出された業務チェックシート等に基づいてヒアリングを実施する。その結果について、地域包括支援センターごとによく取り組んでいる業務や今後取組みが期待される業務をまとめ、府中市地域包括支援センター運営協議会に報告する。

【対象業務等】

- ・地域包括支援センターの体制・組織運営等
- ・総合相談支援業務
- ・権利擁護業務
- ・在宅医療・介護連携推進事業
- ・認知症総合支援事業
- ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- ・地域包括支援ネットワーク構築等
- ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント
- ・介護予防事業

対象 府中市地域包括支援センター 11 か所



(出典) 府中市「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第7期)」より改変

2 実施結果

府中市地域包括支援センター 泉苑

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	北山町、武蔵台、東芝町、日鋼町、美好町(1・2丁目)、西原町	職種	常勤	非常勤	
		センター長	1		
		保健師、看護師	1		
地域の状況	人口	23,891 人	社会福祉士	2	
	高齢者人口	5,908 人	主任介護支援専門員	2	
	高齢化率	24.7 %	介護支援専門員	1	2
	自治会数	54 団体	その他	1	
	シニアクラブ数	9 団体	合計人数	8	2

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

地域包括支援センターの体制・組織運営等

・交代勤務のため職員全員が集まることが難しい中、週に一回全員が出勤する日を調整するなど工夫をし、その日に部署内会議を行うことでケースの共有や検討ができています。

総合相談支援業務

・複合的な問題を抱えているケースが増えているが、職員からの相談がなくともセンター長や係長が日々の記録を確認しアドバイスを行っており、より確実な対応ができるよう取り組んでいる。

在宅医療・介護連携推進事業

・イベントチラシを置かせていただくことを切り口に、薬局と顔の見える関係を作っている。
・介護予防講座等で在宅療養をテーマにした講話を行い、市民へ啓発している。

地域包括支援ネットワークの構築等

・地域活動への参加、高齢者地域支援連絡会における案内など幅広く活動した結果、地域からセンターへの連絡・相談が増え、着実に浸透している。また、高齢者地域支援連絡会も抱える町が多いなかでも精力的に開催しており、案内についても地域住民だけでなく医療機関へ直接訪問して伝えるなど、多角的なアプローチができていた。

介護予防事業

・地域活動に参加することで多世代交流を図っており、自治会の高齢化が進んではいるが、昨年度の課題でもある新たな担い手の発掘に繋がることが期待できる。

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

・職員間で情報共有が出来ているため、サービスCの担当以外もサービスからの卒業やケアプラン作成時の意識に変化があり、身近な利用者の事例を知ることでサービス卒業が現実的なものとして実感できている様子。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務

・課題の多いケースが増えているため、引き続きセンター内での情報共有に努め職員同士の意見交換や事例検討の場を有効に活用し、対応の平準化や向上に努め、職員の負担軽減に取り組んでいただきたい。

在宅医療・介護連携推進事業

・医療機関との連携がかなり進んできているが、介護保険制度の理解が薄い機関も散見されるとのこと。個別事例を通しての関わりとなると思われるが、制度周知についても積極的にアプローチしていただきたい。

地域包括支援ネットワークの構築等

・「センターの役割、認知症等」については、引き続き現役世代に対する普及啓発に努めてもらいたい。このとき、自治会等の団体未加入者へのアプローチについての研究も期待する。また、企業・商店等への普及啓発についても同じ地域に属するもの同士だからできるアプローチを模索してもらいたい。

介護予防事業

・地域の高齢化が進み、若い世代へのアプローチは難しい点だと思われる。引き続き地域活動への参加も含めて多世代交流を続けることで、ボランティア育成に向けた担い手の発掘に努めてほしい。

府中市地域包括支援センター よつや苑

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	四谷、住吉町、分梅町、 美好町(3丁目)	職種	常勤	非常勤
		センター長	1	
		保健師、看護師	1	
地域の状況	人口 35,769 人	社会福祉士	2	
	高齢者人口 7,417 人	主任介護支援専門員	(1)	
	高齢化率 20.7 %	介護支援専門員	2	1
	自治会数 29 団体	その他		
	シニアクラブ数 13 団体	合計人数	6	1

ヒアリング結果

センター長兼務

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務、権利擁護業務
<ul style="list-style-type: none"> ・常に職員がいるよう当番を配置し、突然の来所者からの相談や緊急対応に対処できるようにしている。 ・他機関との連携について、センター内で打合せを行い、必要な支援の内容と他機関に求める事柄を明確にしたうえで相手先の機関と協議することで適切な役割分担ができるようにしている。
在宅医療・介護連携推進事業
<ul style="list-style-type: none"> ・担当者不在時にも対応できるよう、申し送りや記録の徹底をしている。特にターミナル期はいつ急変するかわからないため、緊急時にも対応できるように特定の担当者しかわからない状況をなくす努力がみられる。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> ・住民へのセンターの周知に継続して取り組むことができおり、周知内容の検討にまで至っている。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の主任介護支援専門員と共に連携する機会を確実に捉え、活動することができている。
介護予防事業、介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の新たな活動場所、新規利用者の開拓に日々力を入れている。 ・昨年と比べ、プラン数が増大する中、介護保険サービスの必要性を見極め、介護予防事業や有償サービスの活用についてセンター内で情報共有し検討できている。

改善が必要な点、今後期待される取組等

地域包括支援センターの体制・組織運営等
<ul style="list-style-type: none"> ・メール確認を確実にし、情報共有の漏れがないようにしてほしい。「医療機関・介護事業所検索サイト」の活用にも協力していただきたい。また、縦割り業務から横の共有にシフトしようとしていたり、センターが抱える課題を認識・分析しており、業務マニュアルの整備等内容の充実と、習慣づけ等より良い業務改善に期待する。
総合相談支援業務
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な個別訪問については未実施とのことであったが、問題が重篤化する前に発見し、早期に介入・解決できればセンターの将来的な負担を減らせるため、ハイリスク者へのアウトリーチができるよう工夫してほしい。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の主任介護支援専門員との連携による、介護支援専門員のニーズの十分な把握に向けて取り組んでいただきたい。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者地域支援連絡会での地域課題の抽出や地域のネットワーク構築、地域のニーズに応じた社会資源への働きかけ等具体的な取組みを着実に進めていただきたい。
介護予防事業、介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
<ul style="list-style-type: none"> ・交流会等、ボランティアへの働きかけを実施されているが、地域のつながりが介護予防や健康づくりに好循環をもたらすので、引き続き高齢者の社会参加の活動の場の一つとしてボランティア活動の育成や支援を継続してほしい。

府中市地域包括支援センター あさひ苑

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	多磨町、若松町(1丁目)、紅葉丘、朝日町、白糸台(1~3丁目)	職種	常勤	非常勤	
		センター長	1		
		保健師、看護師	1		
地域の状況	人口	32,467 人	社会福祉士	1	
	高齢者人口	6,359 人	主任介護支援専門員	1	
	高齢化率	19.6 %	介護支援専門員	3	3
	自治会数	17 団体	その他	1	3
	シニアクラブ数	7 団体	合計人数	8	6

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務
・日頃より幅広く専門機関や行政窓口と連携を取り、対応を進めている。医療機関の実施する研修会等にも積極的に参加し、府中市を代表する地域包括支援センターとして顔の見える関係づくりに大いに寄与している。
権利擁護業務
・権利擁護担当者連絡会の運営に積極的に携わり、内容の充実に大きく貢献していただいた。権利擁護センターふちゅうとも連携し、権利擁護の必要な高齢者に対して早期に対応できている。
在宅医療・介護連携推進事業
・独居等のキーパーソンが居らず受診が難しい方に対し、同行受診などの通院支援を行っている。 ・地区内の主要な3医院から直接連絡が入ったり、地域の医療機関との連携構築が図れている。
地域包括支援ネットワークの構築等
・センターの機能や役割を周知するため、地域活動への参加、高齢者地域支援連絡会における案内など幅広く活動した結果、地域からセンターへの連絡・相談の回数も増え、着実に浸透している。これにより、今まで関わりが弱かった地域ともつながりはじめているため、引き続きつながりを意識した取組みを進めてもらいたい。
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
・要支援認定者の方のケアプラン作成に当たり、自立支援やインフォーマルサービスが意識されており、今後のケアマネジメントの質の向上が期待できる。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務、権利擁護業務
・関係機関とより適切な連携を図るうえでは、双方の対応の根拠や制度を十分に理解し、立場や考え方に配慮しながら関係を築く必要があり、引き続き個別のケース対応等を通じて理解を深め、構築に取り組んでほしい。
在宅医療・介護連携推進事業
・連携が図れていない医療機関へのアプローチとして、今後も、地域包括支援センターの役割や機能等について、機会を見つけながら周知を行っていただきたい。
地域包括支援ネットワークの構築等
・「センターの機能や役割、認知症等」の普及啓発については、引き続き行事への参加等により推進いただきたい。特に、つながって間もない白糸台、若松町エリアについては関係性が途切れないよう努められたい。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
・介護支援専門員がインフォーマルサービスと連携できる体制の構築に向けて、ケアマネサロン等で「生活支援サービスやサロン活動(わがまち支えあい協議会)」、「お助け隊(シルバー人材センター)」、「在宅福祉助け合い事業(社会福祉協議会)」などの既存の仕組みを最大限案内するよう心掛けたい。
地域包括支援センターの体制・組織運営
・相談件数や介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施件数が増加する中、センター職員が特別養護老人ホームの宿直業務に割り当てられており、センター業務に支障がある場合には勤務体制を検討していただきたい。

府中市地域包括支援センター 安立園

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	晴見町、幸町、府中町、天神町、 寿町	職種	常勤	非常勤	
		センター長	1		
		保健師、看護師	1	1	
地域の状況	人口	28,468 人	社会福祉士	2	
	高齢者人口	6,204 人	主任介護支援専門員	1	
	高齢化率	21.8 %	介護支援専門員	1	1
	自治会数	66 団体	その他	1	
	シニアクラブ数	11 団体	合計人数	7	2

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務
<ul style="list-style-type: none"> ・相談の記録を速やかにシステムに入力し、センター内で情報共有すると共に、朝礼や定例ミーティングでケースを共有・検討し、個人ではなく「チーム」として対応するようにしている。 ・地域行事で自治会との関係を構築し、高齢者地域支援連絡会の参加自治会数の増加に繋がった。
在宅医療・介護連携推進事業
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養に関する相談に対し、看護師・保健師の医療職 2 名体制で行っており、病状に関する相談・医療につなげるタイミング等、丁寧な対応ができています。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座について、一般向けに行うほか、市内中学生や金融機関、民生委員、シニアクラブ等に対し開催しており幅広い層を対象に実施できている。
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員の個別支援に努めており、相談を受けたケース等については顔を合わせる機会を活用し継続的な関わりが行えている。
介護予防事業
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より始まった短期集中予防サービスにおいて、職員が毎回実施場所に顔を出すなど、積極的に関わりを持ち、利用者のみならず職員も栄養面等学ぶ姿勢が見受けられた。
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメント件数が増加し負担のある中、他の業務等の調整を行うなどで対応している。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務
<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族に発達・精神系の障害(疑いを含む)がある場合の専門機関との連携について改善を図ったが、本人に自覚がない場合の繋げ方等の課題があるとのことであった。繋げ先の機関と共に検討・実行を重ね、うまく繋がった例を一つでも増やし、そこからモデルパターンが構築できるように努めてほしい。 ・個別訪問の対象者の抽出を始めており、そこからハイリスク者へのアウトリーチが実現できるようにしてほしい。
在宅医療・介護連携推進事業
<ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携事例の報告書に関し、在宅療養の相談スキルが上がっているため、よほどの状況でないと困難事例、または好事例と感じられる部分が見られないとのことであるが、地域課題に通じることやセンター間で共有した方が良い事例に関し、センター内で今一度検討をお願いしたい。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者地域支援連絡会では町ごとに開催し、各町の特徴の新たな発見ができており、会の雰囲気も活発な場となっていた。今後は地域住民のつながりが強化される工夫を交え、課題抽出後のアプローチについても引き続き検討いただきたい。
介護予防事業
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題であった「身近で気軽に通える場所における介護予防事業の実施場所の偏在」が今年度も職員の人員の都合等で解消できていなかった為、来年度は留意していただきたい。

府中市地域包括支援センター しみずがおか

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	八幡町、押立町、清水が丘、 白糸台(4~6丁目)		職種	常勤	非常勤
			センター長	1	
		保健師、看護師	1		
地域の状況	人口	29,234 人	社会福祉士	1	
	高齢者人口	6,852 人	主任介護支援専門員	1	
	高齢化率	23.4 %	介護支援専門員	2	1
	自治会数	32 団体	その他		4
	シニアクラブ数	10 団体	合計人数	6	5

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

地域包括支援センターの体制・組織運営等
・個人情報の管理について、個人情報を持ち出す時と戻す時にそれぞれ持出簿を記入し、かつ複数の職員でダブルチェックしており、慎重な管理を行っている。
権利擁護業務
・地域福祉権利擁護事業の利用に繋げる際、契約までに時間がかかることを想定し、意識して早めに対応するようにしている。
在宅医療・介護連携推進事業
・薬局や近隣機関と顔の見える関係ができており、利用者の近況や情報の連携が取れている。
地域包括支援ネットワークの構築等
・高齢者地域支援連絡会に地域住民と介護保険サービス提供事業者等が参加していることで、通いの場の創出に関する話になった際、事業所の場所を活用できることがわかり、実際に地域に通いの場が出来上がった。高齢者地域支援連絡会等を通して地域のつながりが強化されてきている。
介護予防事業
・地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、自主グループ立ち上げにつながっている。
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
・わがまち支えあい協議会の活動で、住民の意識が変わり社会資源が増加していることもあり、地域資源の活用を視野にいれたプランの作成ができています。

改善が必要な点、今後期待される取組等

地域包括支援センターの体制・組織運営等
・昨年度の課題として挙げていた、「情報を得る力のない方への周知方法の検討」について、今年度あまり実施できていないとのことのため、引き続き検討いただきたい。
総合相談支援業務
・住民への計画的な個別訪問については、他業務の負担が大きいため手が回っていないとのことであったが、問題が重篤化する前に発見し、早期に介入・解決できればセンターの将来的な負担を減らすことにも繋がるため、ハイリスク者へのアウトリーチができるように工夫してほしい。
在宅医療・介護連携推進事業
・他センターの事例を参考にして対応力を向上するためにも、「医療との連携事例報告書」を積極的に提出してほしい。また、報告事例がない場合でも、翌月報告提出期限を厳守してほしい。
介護予防事業、介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
・地域の社会資源を取り入れたプラン作成を行っており地域とのつながりも重視されているが、高齢者が地域で活躍することが介護予防にもつながるので、ボランティア活動や自主グループ活動等の支援も引き続き力を入れていただきたい。

府中市地域包括支援センター かたまち

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	片町、宮西町、宮町、本町、 矢崎町、日吉町		職種	常勤	非常勤
			センター長	1	
		保健師、看護師	1		
地域の状況	人口	23,224 人	社会福祉士	2	
	高齢者人口	4,559 人	主任介護支援専門員	1	
	高齢化率	19.6 %	介護支援専門員	2	
	自治会数	48 団体	その他	3	
	シニアクラブ数	12 団体	合計人数	10	

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務、権利擁護業務 ・広報誌の「かわらばん」を活用することで、地域包括支援センターの地域住民への周知に努めている。 ・講演会のチラシやパンフレットの掲示を行い、成年後見制度の普及に取り組んでいる。また、成年後見制度利用の可能性があるかどうか適切なアセスメントを行い、早い段階で市や社会福祉協議会につなぐことができている。
在宅医療・介護連携推進事業 ・末期の方への対応について、対応件数が増え、経験値を積んできたことにより、緊急性の判断や気づき等、スピード感を持って対応できている。また、経験を重ねていくことで多職種との関係性も構築できており、引き続きセンター内での共有を含め取り組んでいただきたい。
地域包括支援センターの体制・組織運営 ・地域の集まりやイベントに、介護予防事業担当者だけでなく相談担当職員も参加し、地域住民との顔の見える関係の構築に努めている。
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ・包括ケア会議で「若天性認知症について」をテーマに講演会を開催し、専門家だけでなく当事者からの話を伺う機会も設けることで、当事者支援の啓発に取り組んでいる。
介護予防事業 ・総合体育館での介護予防事業が実施できなくなったが、利用者を適切に次の会場につなげている。また、担当エリア内で介護予防事業を実施できていない地域があるものの、地域資源を把握するとともに、地域の実情を踏まえた通いの場の検討ができている。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務 ・相談内容が年々複雑化し、あらゆる知識が必要になってくるケースが増えているため、引き続き2名体制でのケース対応を継続し、対応の平準化や向上に努めるとともに職員の負担軽減に取り組んでいただきたい。
在宅医療・介護連携推進事業 ・難病に対する知識不足や障害者への対応等、末期以外のスキルアップの必要性について認識されていたため、対応する職員のスキルアップ及びより一層の関係機関との関係構築に期待する。
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ・引き続き、市民に対する地域包括支援センターの事業周知だけでなく、介護支援専門員等、関係機関に対する事業周知にも努めていただきたい。
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 ・地域リハビリテーション活動支援事業について、担当リハビリテーション職に依頼した意図が十分伝わっていない場合があったことから、有効に事業を活用のため意思疎通を十分していただきたい。 ・ケアマネジメントの意識が全職員で統一できるよう、主任介護支援専門員を中心にケアマネジメントに対する意識の共有やケアマネジメントの質の向上に努めていただきたい。

府中市地域包括支援センター しんまち

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	新町、栄町	職種		常勤	非常勤
		センター長	1		
		保健師、看護師	2		
地域の状況	人口	14,413 人	社会福祉士	1	
	高齢者人口	4,169 人	主任介護支援専門員	1	
	高齢化率	28.9 %	介護支援専門員	2	
	自治会数	77 団体	その他	1	
	シニアクラブ数	8 団体	合計人数	8	

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務・権利擁護業務
<ul style="list-style-type: none"> 各職種がそれぞれの専門性を発揮し、毎朝のミーティングで対応の共有や検討を行いながら対応している。 支援困難事例に関しても、センター長を中心に関係機関との連携を図り、漏れなく対応できている。
在宅医療・介護連携推進事業
<ul style="list-style-type: none"> 病院との連携では、病院が在宅療養に慣れていない部分は先回りして対応したり、利用者に不都合が起こらないように配慮しながらうまく連携を取れていることが伺えた。 他センターと合同で家族介護者教室を企画するなど、工夫しながら市民への普及啓発に取り組んでいる。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> わがまち支えあい協議会等に積極的に参加し、住民やインフォーマルサポートとの関係構築できるように継続的に関わっている。また、ニーズに応じて社会資源に働きかける取組みも行い、新たな資源開発に至っている。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
<ul style="list-style-type: none"> 地域の主任介護支援専門員と連携できる機会を確実に捉えて、協働できている。
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
<ul style="list-style-type: none"> 自立支援に向けたケアマネジメントが強く意識されており、不足している自主グループの立ち上げに向けて意識して取り組んでいる。
介護予防事業
<ul style="list-style-type: none"> 担当エリアが大通りで分断されているが、地域ごとに介護予防事業を実施することで、これまで関わりのなかった方の利用につながっている。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関につないだ後の定期的な状況確認や情報収集については、ケアマネジャーからの報告等により変化のあったケース等については把握できており問題ないとのことだったが、ケースのリストアップや定期的な訪問連絡等により積極的な確認を行うことが可能であれば検討していただきたい。
在宅医療・介護連携推進事業
<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの健康管理・自分自身のケア等について、特にどこにもつながっていない高齢者等に対するアプローチの強化など、今後も積極的に工夫しながら普及啓発に取り組んでほしい。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> 継続して、地域の社会資源の改善・開発への取組を期待する。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
<ul style="list-style-type: none"> 地域全体のケアマネジメントの質の向上のため、ケアマネジャーとの連携による新たな取組みを期待する。
介護予防事業
<ul style="list-style-type: none"> わがまち支えあい協議会との連携をとり続けていただき、現在、センターが関わることで運営されているサロンについても、引き継げるよう調整を継続していただきたい。

府中市地域包括支援センター 緑苑

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	緑町、浅間町、若松町(2~5丁目)	職種	常勤	非常勤
		センター長	1	
		保健師、看護師	1	
地域の状況	人口 24,634 人	社会福祉士	1	2
	高齢者人口 4,513 人	主任介護支援専門員	1	
	高齢化率 18.3 %	介護支援専門員	1	
	自治会数 32 団体	その他	3	
	シニアクラブ数 4 団体	合計人数	8	2

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務
・各職員が蓄積した経験と専門性を発揮し、地域に根付いた支援機関として適切な連携を図れている。 ・生活援護課ケースワーカーとの連携に苦慮していたが、今年度は連携を強化し困難事例にも対応した。
権利擁護業務
・担当職員だけでなく、職員全体が権利擁護への高い意識を持って対応にあたっており、高齢者虐待の通報件数や権利擁護に関わる報告事例が増えてきている。
在宅医療・介護連携推進事業
・医療連携するうえで、協力してくれた医師や訪問看護師への結果報告まで手を抜かずに行うことで、お互いに連携しやすい関係性が構築できている。 ・看護職が橋渡し役となり、医師との連携がスムーズにいくな対応ができている。
地域包括支援ネットワークの構築等
・地域の関係者等を介しての相談が増えてきており、地域でセンターへの理解や信頼が深くなってきている。 ・高齢者地域支援連絡会に、自治会や介護支援専門員だけでなく、府中の森公園の管理センターの方に参加してもらうなど、地域での活動につながるよう努めた。
介護予防事業
・新規参加者の獲得に力を入れており、また、事業の参加者からボランティアを募り担い手を育成している。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務、権利擁護業務
・高齢者以外の相談件数も増えているとのことで、相談を一度受け止めスクリーニングしていくことの継続と、機を見て適切な支援機関につなぎ、対応を移行していけるようにしていただきたい。 ・今後取り組みたい内容として挙げられていた、現在行っているケース情報のファイリングと定期的な振り返りに加えて、継続的に状況確認が必要な事例のリストアップを行えるよう検討していただきたい。
在宅医療・介護連携推進事業
・市からの連絡や、特に医療機関・介護事業所検索サイトを通しての周知等について、タイムリーな情報共有ができるよう、メール等のチェック体制も強化してほしい。
地域包括支援ネットワークの構築等
・学校関係へのアプローチを引き続き行い、着実に関係性の構築へと進めていただきたい。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
・地域との連携を図る中で、できるだけ介護支援専門員のニーズの把握を進めているが、遠い事業所の中には支援が十分でないところもある。 ・介護支援専門員との関係性を深めるため、ケアマネサロンの定期開催など着実に進めてほしい。
介護予防事業
・参加者の意向と今までの実施経験から、生涯学習センターと緑苑で介護予防事業を行っているが、次年度の介護予防把握事業未把握者フォロー等から市民のニーズを集約し実施会場について検討を継続してほしい。

府中市地域包括支援センター にしふ

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	西府町、本宿町、日新町	職種	常勤	非常勤
		センター長	1	
		保健師、看護師	1	
地域の状況	人口 17,332 人	社会福祉士	1	
	高齢者人口 3,433 人	主任介護支援専門員	(1)	
	高齢化率 19.8 %	介護支援専門員	1	1
	自治会数 12 団体	その他	1	4
	シニアクラブ数 5 団体	合計人数	5	5

ヒアリング結果

センター長兼務

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務
・所内でのケース情報の共有や対応に関する検討について、従来は週末や週明けが主だったものを毎朝30分ほど時間を確保している。また、訪問活動についても単独訪問が基本だったところを複数対応とするなど、組織としての対応を強化している。
権利擁護業務
・高齢者虐待についての関係機関への啓発や情報提供を行うとともに、実際の対応に関しても積極的に連携を図り、地域全体の意識づけを行っている。
在宅医療・介護連携推進事業
・緊急なケース、困難ケース等、その都度スクリーニングし、状況に応じて二人体制での訪問を心掛けている。センター内での事例の共有や対応方法においても、振り返りの時間を設けるなどして、工夫している。
・かかりつけ医からの指示や薬のこと等、連絡をいただくなど、診療所の意思との連携が取れている。
地域包括支援ネットワークの構築等
・学校での認知症サポーター養成講座の実施やスクールコミュニティへの参加など、学校と連携できている。
・西府地区のわがまち支えあい協議会準備会に参加し、取組みに協働するなど、関係が継続されている。
介護予防事業
・総合相談と介護予防コーディネーターの連携がとれており、利用者にとって必要な事業や相談に適切に繋ぐことが出来ている。また、ほっとサロンの見守り機能をうまく育てており、介入が必要な方への迅速な対応が取られている。
・介護予防事業をただ周知するだけでなく、市民が「いつか衰える自分にとって必要なこと」と認識できるよう工夫して介護予防事業普及啓発ができるよう取り組んでいる。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務・権利擁護業務
・職員の異動等により所内の体制が変わっていく中で、新たに開発しているインテークシート等のツールも活用し、職員間の対応の平準化を進めていく必要がある。
・医療機関との連携については、個別の機関によってその程度に差が生じてしまっているため、研修会や個別の対応を通して、顔の見える関係づくり、お互いの動きや立場に対する相互理解を進めていただきたい。
在宅医療・介護連携推進事業
・介護保険と医療保険を併用する方への支援に関し、多機関との連携について事例を通して医療職と介護職の理解が深まるよう働きかけていただきたい。
地域包括支援ネットワークの構築等
・学校とのかかわりの中で、学校側のアプローチが弱くなる学校もあるので、関係性の継続に努めてほしい。
介護予防事業
・参加者同士で協力して片づけをする等、参加者の能動的な姿勢が見られている。ボランティアに対して敷居の高さを感じる参加者が多く、新たな担い手の発掘に難航していると思うが、今後も引き続きボランティア育成に力を入れていただきたい。

府中市地域包括支援センター これまさ

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	是政、小柳町		職種	常勤	非常勤
			センター長	1	
地域の状況	人口	22,097 人	保健師、看護師	1	
	高齢者人口	4,938 人	社会福祉士	1	
	高齢化率	22.3 %	主任介護支援専門員	1	
	自治会数	15 団体	介護支援専門員	3	1
	シニアクラブ数	8 団体	その他	1	
			合計人数	8	1

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務
・地域課題の抽出について、高齢者地域支援連絡会の委員へアンケートを行い地域住民の声を集め、その中から課題を抽出するとともに、会のテーマを決め、課題の解決に向け、住民の理解を深める取組みを行っている。
在宅医療・介護連携推進事業
・同法人の病院からのセンターへの紹介や、訪問歯科、介護予防講座での薬剤師の関り等、多方面での関わりを通して、医療機関との連携構築を図っている。また、同法人の病棟師長のセンターで1日研修や、病院の新人職員へセンターの説明を行うなど、地域との連携や相互理解に法人としても力を入れている。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
・サロンを定期開催し、内容や場が充実するよう取り組んでいる。また、主任介護支援専門員に働きかけ、高齢者地域支援連絡会への出席を促し、地域の社会資源やネットワークに関する情報収集等に取り組んでいる。
認知症総合支援事業
・地域住民への普及啓発をガイドの配付・活用により積極的に行っている。
地域包括支援ネットワークの構築等
・地域の集まり等に職員が出向き、センターの周知を図ることを継続的に行っており、地域住民から声がかかることが増え効果が出ている。また、高齢者地域支援連絡会における課題抽出に計画的に取り組んでいる。
介護予防事業、介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
・積極的に地域の行事等に参加しており、地域の方と顔の見える関係づくりに力を入れ、行事参加を通して新規利用者の開拓にもつながっている。また、ボランティアを活用し、自治会主体の活動に取り組んでいる。
・ケアプランが増加しプランナー不足の中、業務の調整を行う等工夫して取り組んでいる。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務
・住民への計画的な個別訪問について、元利用者などを対象としてすでに行っていたところではあるが、問題が重篤化する前に発見し、早期に介入・解決できればセンターの将来的な負担を減らすことにも繋がるため、ハイリスク者への予防的アウトリーチができるよう、対象者の拡大や精査の工夫をしてほしい。
在宅医療・介護連携推進事業
・自治会、シニアクラブの会合や地域でのイベントに積極的に出向き参加・手伝い等行い、関係性を構築している。引き続き、センター全体で対応し、特定の職員に負担がかからないよう対応して行ってほしい。
包括的・継続的ケアマネジメント業務
・主任介護支援専門員と連携の場を増やし、地域のケアマネジメントの質の向上のため協働いただきたい。ケアマネジャーが地域のネットワークを把握し、支援に生かせるよう、引き続き取り組んで行っていただきたい。
地域包括支援ネットワークの構築等
・今後の期待として、高齢者地域支援連絡会への新たな出席者への開拓も視野にいれて行っていただきたい。
介護予防事業
・来年度より事業が大きく変化するため、参加者に対ししっかりと説明を行い、混乱のないよう対応いただきたい。

府中市地域包括支援センター みなみ町

基本情報(令和元年10月1日現在)

担当地区	南町	職種			
			常勤	非常勤	
地域の状況	人口	9,228 人	センター長	1	
	高齢者人口	2,535 人	保健師、看護師	1	
	高齢化率	27.5 %	社会福祉士	1	
	自治会数	9 団体	主任介護支援専門員	1	
	シニアクラブ数	4 団体	介護支援専門員	2	
			その他	3	1
			合計人数	9	1

ヒアリング結果

よく取り組んでいる点、改善された点等

総合相談支援業務
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対するセンターの周知ができているため、地域に根ざした相談窓口となっている。またケアマネジャーとの連携を密に行っているため情報共有が迅速であり相談や困りごとに早期に対応することができている。 ・センター内で話しやすい雰囲気づくりを意識しており、三職種で協働しながらケース対応に取り組んでいる。
在宅医療・介護連携推進事業
<ul style="list-style-type: none"> ・多職種事例検討会を年間2回開催しており、自治会や弁護士等多機関にわたる連携に取り組んでいる。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> ・センターの機能や役割を周知するため、自治会や加入することで回覧板グループに所属したほか、文化センターまつりへの参加、広報誌「かわらばん」の発行等幅広く活動している。また、わがまち支えあい協議会のメンバーとなることで、顔つなぎや情報収集に努めており、課題に対して地域の一員として取り組んでいた。
介護予防事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流体操の参加者が昨年度と比較して増加しているため、交流の場および通いの場づくりが促進されている。また、相談ケースから介護予防事業につなぐ事例もあり、センター内で連携が取れている。 ・地域リハビリテーション活動支援事業を意識して利用することが出来ており、利用者の満足度も高くなっている。介護予防講座の充実に向けて、引き続き当該事業の有効活用をしてほしい。

改善が必要な点、今後期待される取組等

総合相談支援業務
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き相談しやすい雰囲気づくりに取り組み、ケース対応の平準化や対応力の向上に繋げていただきたい。 ・地域住民やケアマネジャーからの相談が多様化し問題が多岐にわたることが増えているとのことであるため、引き続き高齢者関係機関だけでなく他機関との連携を強化し、課題解決に取り組んでいただきたい。
在宅医療・介護連携推進事業
<ul style="list-style-type: none"> ・個別事例に関して、当初関わっていた事例であっても、いつの間にか終了していた、亡くなっていたという途中経過が分からない状況がみられたとのことであった。地域包括支援センターの介入が不要であった事例の可能性もあるが、ケアマネジャーとの連携体制や、事例の振り返りに関して再度確認をお願いしたい。
地域包括支援ネットワークの構築等
<ul style="list-style-type: none"> ・「センターの役割、認知症等」については、引き続き現役世代に対する普及啓発に努めてもらいたい。このとき、自治会等の団体未加入者へのアプローチについても研究し、必要に応じた市への働きかけを期待する。 ・担当地区ケア会議、自立支援ケア会議、高齢者地域支援連絡会における課題抽出、可視化に向けた体制づくりと、高齢者地域支援連絡会とわがまち支えあい協議会との連携のあり方について模索してもらいたい。
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具利用者の場合は難しい点もあると思うが、引き続き利用者への適切なアセスメントを行い、自立支援に向けたケアプランの作成をお願いしたい。